

令和6年度 未来創造こども会議



事業報告書

事業概要

テーマ

作ろう！環境ワンダーランド！

概要

リサイクルを含めたゼロごみやゼロカーボンの取り組みを学び、新しいリサイクルプラザの愛称・施設イメージ・イベント内容等の利活用方法を市長に提案しよう！

事前研修

第1回	10月5日	第3回	10月26日
第2回	11月16日	第4回	11月30日

本会議

日時：12月14日（土）15時から17時
会場：本庁舎5階 第2応接室

事前研修

第1回 10月5日(土) 13:30~17:30

◆アイスブレイクを行う児童たち ◆JFEリサイクルプラザ苫小牧で講義を受け、施設見学を行う児童たち



第2回 10月26日(土) 13:30~17:30

◆ゼロごみ推進課職員から先進自治体の事例を学ぶ児童たち ◆アイスブレイクの様子 ◆意見出しを行う児童たち



事前研修

第3回 11月16日(土) 13:30~17:30

◆意見をまとめ、自宅で調べた内容をもとに話し合い、提案内容を決め プレゼン資料を作成する児童たち



第4回 11月30日(土) 13:30~17:30

◆本会議に向けて、本番同様にスライドを使ってプレゼン練習を行う児童たち



本会議

※当日の様子は青少年課 **Instagram** にて配信しました。

12月14日(土) 15:00~17:00

◆市長に提案を発表する児童たち



◆こどもたちの意見を聞き質問する市長



◆最後に市長と記念撮影！



事前研修の成果として皆さんが発表した提案内容については、市長のお話にもありましたとおり、担当部局である環境衛生部が主となり、より多く具現化するために、協議を重ねて取り組んでいきます。

今後も皆さんから色々なアイデアを出していただき、様々な事業に繋げていきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

グループ名：なかじ〜ず

名前・学校・学年	なかじ〜ず	提案要旨
しおぎき しゅんすけ 塩崎 駿祐 (錦岡小6年)		グループ名 『なかじ〜ず』
あらや みづき 新谷 海月 (緑陵中1年)		◆施設の愛称について～『くるくる』 『くるくる』！！なんて素敵な愛称なんでしょう！ ○意味 ・そのまんま！！「リサイクル」の「くる」！ ・リサイクル！リユース！「モノの循環」の「くる」！ ・ごみを燃やす！発電くるくる！「タービン」のくる！ ○マスコットキャラクターつくっちゃいました！ ～小さい子どもにも大人気！～ 名前は・・・くるん♪
はたの ももか 秦野 桃歌 (明野中2年)		◆施設のイメージについて～『知識と人と物が出会える施設』 みんなが行きやすい施設にしたい！という熱く純粋な思いから、ターゲットは親子連れや学生に！ ○ターゲット ・親子連れ～子どもスペースに、木材やバイオプラスチックなどのおもちゃを！見守る親も安心！ 癒し休憩スペースで「ほっと一息」飲食もできる！ ・中学生から高校生（みんな親になっても家族で来る！） 静かに集中！勉強スペース＆図書室を！半個室のような勉強スペースには、廃材で作られた机を置き、 図書スペースには、ごみ収集やリサイクルに関する本や苫小牧に関する本を置く！
なかじま ゆう 中島 佑 (苫小牧東中2年)		◆イベントについて～『スタンプ&クイズラリー』 年中開催！スタンプラリーとクイズラリーのコラボレーション！ 景品は、ペットボトルキャップから作ったキーホルダーなど（ゆくゆくはキャラグッズも登場する！？） ○イベント効果 ・「くるくる」について知ってもらえる！ ・楽しめる場所としてのイメージをもってもらえる！ ・苫小牧市の053（ゼロごみ）の宣伝！ イベントや最新情報は、公式LINEやInstagramを開設発信！！ さあ、みんなもイベントへGO！ 知識と人と物が出会える「くるくる」へ一緒に行きましょう！
のむら めい 野村 芽生 (ウトナイ中3年)		
こんの るり 今野 瑠璃 (明倫中3年)		

グループ名 : カラウタリ

名前・学校・学年	提案要旨
さとう りゅうき 佐藤 龍季 (緑小6年)	グループ名 「未来創造こども会議を通して仲間（ウタリ）と未来をつくる（カラ）」をアイヌ語で調べて、グループ名を「カラウタリ」に決めた。 ◆施設の愛称について～『オハムンド』 ○意味 ・子どもから大人までに伝わりやすく親しみやすい愛称にしたかった。 ・北海道らしさからアイヌ語で施設のイメージを表したかった。 ・アイヌ語で「オハ」は0（ゼロ）、「ムン」はごみで「ゼロごみ」にし、「ド」は〇〇ランドのドを組み合わせた。 ◆施設のイメージについて～3つの案 ○どの世代にも「ゼロごみ」が身近になって欲しい。 ○大人も子どもも「ゼロごみ」について学べる。 ・縦長モニターを使ってゴミ拾いゲームをしたり、体を使ってごみの重さなどを体験したりする。 ・展示のイメージ 自然とごみとの関係の映像 暮らしへの影響や市の取り組みの展示 ○憩いの場 屋外の広場に、各年齢層が休憩したり、子どもが遊べたりする遊具を作る。 ◆イベントについて ○シーズン別フェス ・たくさんの人に来てもらう。施設について知ってもらう。利用者を増やす。「ゼロゴミ」について知ってもらう。 ・春（5～6月） 053ファイブ戦隊ショー、クイズ大会 ・秋（10月末） 053運動会 ・冬（クリスマス頃） リサイクルライトアップ
ささだ めい 笹田 芽生 (緑陵中1年)	
いしやま ひかる 石山 輝 (和光中1年)	
とうがし ゆめ 藤桜 祐芽 (凌雲中2年)	
おおくわ りょうま 大桑 綾真 (苫小牧東中3年)	
つるまき こはく 鶴巻 琥珀 (明倫中3年)	

グループ名：おい！考えろ。

名前・学校・学年		提案要旨
えんどう ののか 遠藤 乃々夏 (錦岡小6年)	グループ名 「おい！考えろ。」	
こむかい よしあき 小向 慶明 (登別明日中等 教育学校1年)	◆施設のイメージについて～3つの案 ○放課後にCome On！ 小中学生が日常的に施設に来るようにする仕掛け。 発達段階に合わせた企画や場の設定、 自動運転バスの活用や保護者までを取り込む仕掛け。 ○5 Rと再生エネルギーを学ぶ ごみ問題解決のための5 Rを知識だけでなく体験を通して学ぶ企画。遊びを通して無理なく学ぶ場や再生エネルギーの実感を体感する設備を備える。 ○現代の環境問題をガーデニングをしながら学ぶ フードロス問題に真正面から取り組む。ガーデニングで自給自足、食べられるものは無駄なく食べ尽くす。	
さかもと さくら 坂本 桜桃 (ウトナイ中2年)	◆イベントについて ○定期イベントと季節イベント ・定期～出前授業、クイズビンゴ大会、TシャツDay、詰め放題。 ・季節～ハロウィン、クリスマスなど季節行事に合わせた廃品利用モノづくり。 ○ゴミ拾いをしてもものづくり 観光スポットに出向いた出前ゴミ拾い大会。 拾ったごみから使えるものは使う（古紙再生） ○超スーパー Sports Game 親子参加型競技（例・借り物競争）で環境問題を学ぶ。賞品もリユース品。	
だいの かほ 台野 芳歩 (明野中3年)	◆施設の愛称について～3つの案 ○「ECO☆トマ」 短く呼びやすいところがポイント。☆印が意外性を呼ぶ！ ○「イナंकフルパーク」 イナंकフル＝幸せ（アイヌ語） みんなが幸せになる公園！ ○「トマコム ミライ」 苫小牧＋コミュニティ＋未来 想像力が広がる愛称！	
いしやま りょう 石山 諒 (和光中3年)		

